

令和5年度 第5回 豊田市保見地域会議 会議録

開催日時	令和5年8月23日(水)	開会	閉会
		午後7時	午後8時40分
会場	保見交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：11人		
	会長：湯浅 進也		副会長：田中 治
	委員：大城 一美	大羽 啓允	楓原 和子 加納 和茂 倉知 朋範 深見 浩司 船倉 茂久 山田 貴啓 山本 昭治
欠席者	7名(篠田 賢悟 竹崎 佐恵美 福岡 博之 藤田 パウロ 水嶋 淳 森岸 直幸 吉村 迅翔)		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、岩村(苑)主査		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 新たな提言に向けた取組について 4. 令和5年度の地域課題解決事業について 5. 第9次豊田市総合計画に関する諮問について 6. わくわく事業現場訪問について 7. 情報共有・事務連絡 		

■ 議事(要約)

3 新たな提言に向けた取組(協議) 当日資料

提言テーマの決定について

(正副会長からの提案)

この地域をどのようなまちにしたいかというテーマでこれまでいろいろ出た意見をまとめて「健康づくり」と「多文化共生」の二つに絞ってきた。どちらも関心の高いテーマだと思うが、先回出た意見を見ても多文化共生は、保見団地内に住んでいる方とそれ以外の方で感じ方が違うのではないかと思います。団地外の方はこの地域に外国籍の方が多いことからどう接したらいいかを迷われることがある。外国の方に接することが多い団地内の住民の方は当たり前前の日常となっている。

一方、「健康づくり」は個人的な問題ということもあるが、地域にとっては普遍的なテーマで、本日の資料に記載のとおり周りの環境に影響されるのではないかと、ということで健康づくりに提言のテーマを絞って進めたい。

結論：健康づくりを提言のテーマとする。

【協議事項】

① 健康づくりに関するアンケート内容について

健康づくりの定義としては、健康診断の受診促進、歯周病等の予防、食生活改善、こころの健康づくり、運動の習慣化、仲間との交流など広範なものを指す。

●アンケートの設問内容について

→特に意見なし

●アンケートの対象団体について

結 論：その他調査団体があれば、後日でもいいので事務局まで連絡する。

個人単位の調査の在り方については、今後の検討とする。

質疑等：対象年齢は？

⇒回答：地域全体が健康意識の高い地域だと感じられるようにすることが目的であり、長期的に見て健康寿命を延ばす取組なので、全員を対象と考えていきたい。

アンケートを取るのは、現状を把握して今後の取組を考える上での基礎データとなるものを押さえたいため。

質疑等：対象は今現在健康づくりを行っている人に対して行っても意味がないのではないか。健康づくりの取組をしている人達にだけ聞いても、その枠を超えないので、実際に不安を持っている人や困っている個人に、それらを解消するような取組について聞いてみては。

質疑等：自治区に対してはどのようなアンケートの取り方になるのか。

⇒回答：自治区の中で、活動している団体やヘルスサポートリーダーが行っている活動など把握していることを教えていただくもの。

質疑等：緊急時にどこに連絡するかを事前に決めているか。

質疑等：子ども達向けには、スマホやゲーム時間が多くて、運動不足になっていないかなどを調査するものではないか。

⇒回答：アンケートの内容は少し違っていて、自治区の中で健康づくりに関するどんな取組を行っているかを把握するためのもの。一人暮らし高齢者や子どもを対象にアンケートするかはその後必要性を検討する。独居高齢者の情報は自治区3役や民生委員が把握しているが、連絡体制まで自治区で把握しているかは今後確認。

質疑等：対象に社会福祉協議会とあるが、すべての職員にアンケートするのか。

⇒回答：社会福祉協議会は、保見地区を担当している職員への聞き取りになる。

個人へのアンケートは考えていない。各団体の代表者や担当者に回答してもらおう。どういう環境にしたら、健康づくりに積極的に取り組んでもらえるのかを考えていく。

例えば、子どもが暑くて外で遊ぶのは熱中症が怖いということがあれば、区民会館の空調が効いた部屋を開放するなど考えられる。

質疑等：会社勤めの人には半ば強制的に健康診断を受診させられるが、国保の特定健診の通知は来るが、受けるかどうかは自分の意識次第で変わってくる。未受診者は把握できるのか。

⇒回答：確認する。どうやって健診を全ての人に受けてもらうかは、取組としては必要である。

質疑等：団体代表者に聞くだけで本当の意見が出てくるか。団体の中でも幅広く聞いたほうがいい。

⇒回答：個々の切実な問題は個人レベルで調査しないと出てこないが、まずは団体の取組でどんな課題があるかを把握するもの。個人レベルのケアまで話を広げ

るのは今後の話かと思っている。

② 健康づくりを始めるきっかけについて

(各委員発言)

- ・取り組むきっかけは、健康診断の結果で指摘されることが多いが、悪い結果ができれば対処が必要になる。
- ・胃がんの家系であり、家族からの勧めがあったから、人間ドックの血液検査でピロリ菌検査を受けた。
- ・何かしらの症状が出て健康を意識するようになる。
- ・会社で健康ウォークをやっている。景品がいいので皆さん参加している。
- ・敬老会のお祝いやイベントに合わせて、簡単な健診を受けられる、健康づくりの取組を勧める機会とする。
- ・毎朝の散歩を習慣としている。1年に1回健診を受けて、悪いところがあればすぐ対応することが基本。
- ・コロナ禍で止まってしまった元気アップ体操がいいのでは。
- ・健康診断を毎年受けていて、運動はしていないが、やらないといけないとは思っている。子どもがやっているから、中学校の部活の指導員をやっている。一人で行くのは苦手だから仲間がいると一歩が出やすい。
- ・症状が出て医者に行ったときに健康を意識する。血圧を下げるために1日5千歩のウォーキングをと言われたが現状できていない。歩きやすいコースや一緒に歩いてくれる人がいれば歩きたいが、そういう環境があればいいなと感じている。
- ・健康づくりは病気の反対ではなく、体づくり、筋肉を維持することだと思う。自分の筋肉が衰えていることを意識したので、日々歩いている。また毎朝会社でのラジオ体操を真剣に行っている。
- ・退職後、自分が何をやったらいいか考え、体づくりと仲間づくりが必要だと思い、農業を学ぶコースを受けた。そこで仲間ができ、農作業を続けている。またマレットゴルフをすることで運動を続けられている。

4 地域課題解決事業

- ・令和5年度の地域課題解決事業について、事業の進捗を事務局から報告（資料1・2頁）
- ・令和6年度の地域課題解決事業の事業計画について、来年度が計画の最終年度となる。内容は今年度と同様で、予算規模は資料のとおり。（資料3頁）
結論：了承
質疑等：今年度は支障木伐採の要望がなかったが、来年度はできるのか。
回答：来年度の5月までに学校から要望が出てくるので、その中に地域会議で行うべきものがあれば実施する。

5 第9次豊田市総合計画に関する諮問（事前勉強）

総合計画の位置づけや構成などの概要について、事務局から説明（資料4～18頁）

第8次豊田市総合計画概要版の配付

6 わくわく事業現場訪問

「HOMI わくわく農園の会」の活動について訪問した委員から報告（資料 19 頁）

7 情報共有・事務連絡

- ・情報共有なし
- ・地域共生社会推進全国サミットのチラシ配付

(次回の予定)

日時：令和5年9月27日（水） 午後7時から

場所：保見交流館1階 多目的ホール

内容：諮問書の授受・意見交換会